

花マットの「壁面緑化用構造物」で、平成19年8月8日に実用新案権を登録しました。
実用新案権登録「壁面緑化用構造物」（登録第3134965号）

屋上緑化技術として開発された花マットですが、これを壁面など垂直面の緑化や装飾に用いることが、今、大変注目されています。例えば、街中の工事現場の簡易防壁を飾って道行く人々を楽しませる例も見られるようになりました。

マット植物は軽量・薄層で、しかも根が用土を保持して構造がしっかりしているので、サイズの合う網かごのような枠体に納めれば、網かごを壁に固定したり、提げたりして簡単に設置できます。

そこで、トリカルネットなどを成形して網状かごや強固な容器の枠体を作り、花壇用マット植物を囲み、垂直ないし傾斜壁面に支持させることを特徴とする壁面緑化用構造物、および構造体が門型の構造物であることを特徴とする壁面緑化用構造物を考案し実用新案権を登録しました。

（問い合わせ先：東京都農林総合研究センター研究企画室 電話 042-528-5216

電子メール t-yoshioka@tdfaff.com）

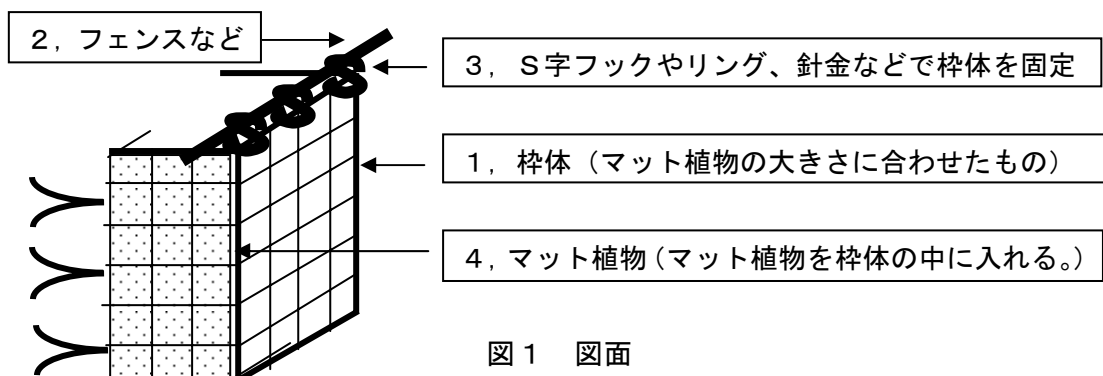


図2 出願部分：マット植物を枠体に入れて壁に固定する部分



図3 花マットの展示例（ジャパンフラワーフェスティバルさいたま 2007. 6. 1～3：さいたまアリーナ）